

# アイランドキャンパス事業計画

## 事業

硫黄島の資源を生かした新たな着地型観光の推進

## テーマ

交流人口の拡大を図るための観光振興の方策

リーダー 魚沼 純平

岩葉 泰成

笹原 宇翔

教員 山崎良夫

2022年11月24日 三島開発総合センターにて

## 硫黄島を選定した理由

- このプロジェクトを通じ、硫黄島について調べてみたところ、東温泉やジャンベ、メンドン、野生の孔雀など魅力的な観光資源が存在していると知り、この島の魅力をより多くの人に知って欲しいと考え、選定に至った。

### 現状

人口は126人（HP）、魅力的な観光資源はあるが、人口増加に伸び悩んでいることや観光産業の従事者、地元の語り部の不足などといった観点から観光産業があまり発展し難い。



～長期滞在の必要性～

アクセスの不便さを補うために来客数よりも観光消費額を増やすことが重要である。そのためには長期滞在が不可欠。長期滞在中で島の魅力や理解を深めることができる。結果、観光誘客が増加し、観光産業に従事する移住者が増加することが目論める。

観光面の課題

- ・ 折角の観光資源が周知されていない
- ・ 長期滞在中に見合う観光資源が少ない

## 課題に対する取り組み・効果

Q. なぜ着地型旅行が必要なのか・・・

A. LCCの発達により、大都市圏から鹿児島へ低コストでアクセスが可能になった。また、地域独自の資源を生かすことで多様化するニーズにも対応できるようになる。その結果、観光客も増加するため、地域の活性化にも期待できる。

着地型旅行の実施・個人旅行への旅行形態の変化や多様化する観光ニーズに合った観光プランの作成が不可欠

観光需要・観光来客の増加、観光産業就労機会が増えることでU・Iターン移住者の増加。持続可能な産業になれば、将来的に定住に繋がる可能性を秘める。

東京から一週間の滞在が6万円ほどで実現可能なため、関東圏からの来客も十分に期待できる。観光事業に『島』全体で取り組み、長期滞在型観光を推進することで、将来的には観光客の増、観光による雇用機会も増えれば、移住者が増え、その方々の定住にも繋がると考える。

# 実際に硫黄島で行った調査

- 1 日目 入島：島内散策
- 2 日目 終日：島内スポットの視察
- 3 日目 午前：畜産家訪問  
午後：硫黄島学園で小中学生と意見交換
- 4 日目 午前：資料作成  
夕方：ジャンベスクール発表会へ参加
- 5 日目 午前：資料作成  
午後：ジャンベスクール訪問  
夕方：研究成果報告
- 6 日目 出島



# 畜産体験



**メリット**  
作業工程等を学べる  
仕事を通じて就業体験が可能

**デメリット**  
畜産家の方にとって手間  
過負担になる



# 東温泉

メリット  
非日常的な体験  
絶景を眺めることができる



坂本温泉もあるが・・・  
改修工事が必要

デメリット  
安全性  
男女のプライバシー



# 山岳

## 硫黄岳

硫黄の噴出が見れる

ネイチャー学習の効果が高い

## 稲村岳

登山コースの開発



## 矢筈岳

カルデラの学習にも  
繋がる

# 硫黄島学園

## メリット

郷土知識を有する生徒たち  
快活な生徒たち  
→ こどもガイドも可能では

## デメリット

交流人口増える→生徒数増  
少人数ならではの教育がし  
にくくなる



# 子供たちの意見

## ・硫黄島の魅力

豊かな自然、独自の生態系

皆の仲が良い、歴史的な文化

## ・観光客が来て欲しいか？

欲しい→魅力を知って欲しい

欲しくない→自然の良さを無くしたくない

## ・進路

美容師、教師になって島に戻ってくる。

研究者やデザイナーになって外で働く。

(二つに分類される)

## 子供たちの意見

- 観光の推進を望む声が多かった。
- 硫黄島の良さを知らせたいという意見が多い
- 将来、島に戻ってくる子のために、新たな雇用を創出する必要がある。

# その他

## 恋人岬

恋愛関係を絡めた観光地



## 孔雀

島の大きな特徴の一つ

管理が大切

## 大浦港

綺麗な海を有している

泳ぐことも可能



## 平家城跡展望台

絶景を望むことができる

史実に残る名所

# 調査結果を踏まえての提案

- 学びに意欲がある人をターゲットにしたプランを提案  
(互いにメリットが生まれるようにする)
- 長期の滞在  
(時間を忘れることができ、  
島の理解を深めることも可能)
- 過度な開発はせずに、島の特性を活かした観光計画を  
(SDGsにもつながる)



# 硫黄島へのイメージと提案内容

～来島後（調査後）～

- 少ない観光客が長期滞在する必要性
- 神秘的で野性的な硫黄島で価値観を変える体験ができる
- 時間を忘れることができる（時間にとらわれない豊かさ）
- アクセスの悪さが逆に長期滞在を狙いやすいポイントに
- ネイチャー志向層に人気が出そうなスポットが多い
- その層は、ハードリピーターになる可能性が高い
- 将来の移住者、定住者候補！！

→ 2015年のジオパーク登録認定により、

ネイチャーツアーを訴求し易くなった

・ ・ ・ やはり、長期滞在に向けた施策が必要！

離島の硫黄島 de

遊ぶ

学ぶ

暮らす

独特の自然と文化と島民との交流

硫黄島なら  
では...

離島だからこそその非日常感

世界でも希少な「離島のジオパーク」

神秘的で野性的な硫黄岳

褐色とライトブルーの海岸線

異国を感じさせるジャンベのリズム

硫黄島なら  
では…

ワーケーションにもピッタリ

専門的なネイチャーガイド

約7300年前縄文期の噴火のカルデラ

オーロラを想う海中と海原を泳ぐ海亀

硫黄島のソウルミュージック（郷土音楽）

# ターゲット

ネイチャー  
志向

企業研修

教育旅行

アドベン  
チャー志向

ワーケー  
ション

ダイビング  
愛好者、釣り

アクティブ  
シニア

大学生  
ゼミ・キャンプ

# 長期滞在を可能にする具体策

1. ネイチャーゼミナールの開講（鬼界カルデラ・硫黄島）
  2. 安全なネイチャーコースの拡充（硫黄岳）
  3. ネイチャーガイドの複数育成
  4. ハイキングコースの整備、拡充（稲村岳）
  5. サイクリングコースの整備、拡充（島内、沿岸）
  6. マリンスポーツ（カヤック、シュノーケリング）
  7. 天体観測、星空教室、夜光虫鑑賞
  8. こどもガイド養成
  9. ジャンベのワークショップ開講
- \*島のこどもたちが作ってくれた「来島記念カード」
- \*ご当地キャラ→メンドンでのアピール



# 得られるであろう効果

観光収入  
増加

人と雇用の  
増加

移住者の  
増加

☑経済の活性化

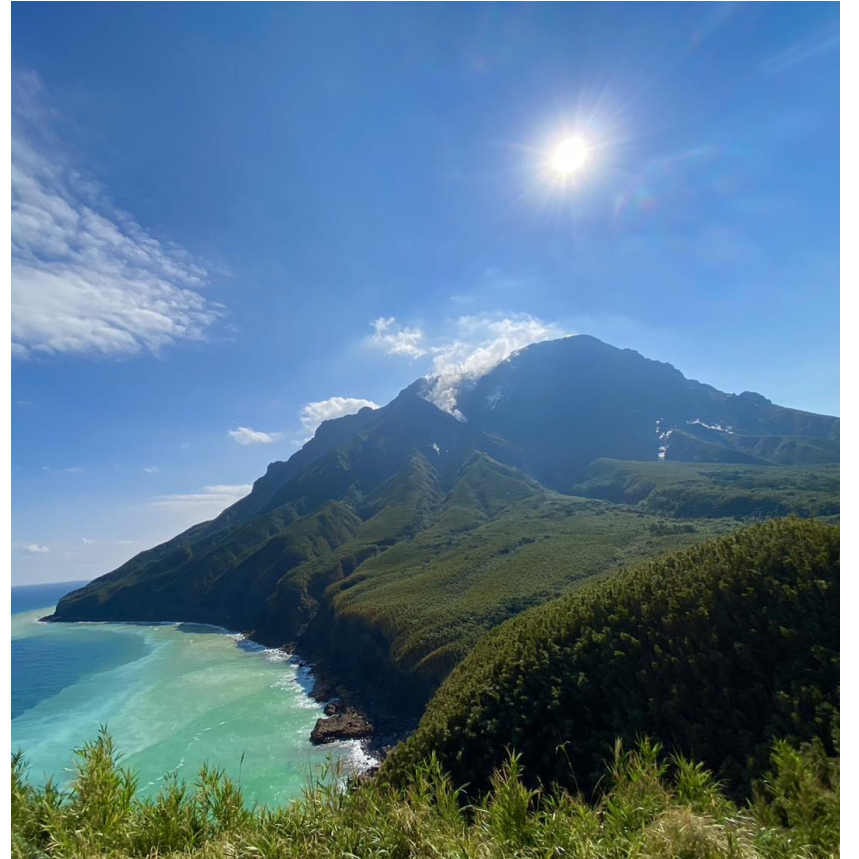
☑人手、人材不足  
の解決

☑定住に繋がる  
☑交流の機会を増  
やす

# 提案

---

- 長期滞在（約7日間）をイメージ
- 離島で暮らしの体験をする
- ターゲットはネイチャー志向のある人
- 貴重な体験、学ぶことができる旅
- リトリート



# モデルプラン

- 1日目 観光案内所→島内散策
- 2日目 ネイチャーツアー
- 3日目 ネイチャーツアー
- 4日目 硫黄島の文化、歴史を学ぶ
- 5日目 なにもしない（暮らし体験）
- 6日目 好きなことを自由に体験
- 7日目 最後にもう一度見たい景色を  
見てからフェリーor飛行機へ



## 過度な観光客の来島

- ・そもそもキャパ不足  
(インフラ整備の是非)
- ・モラルの低下
- ・ゴミ問題
- ・トラブル増加
- ・クレーム増加
- ・郷土芸能の俗物化
- ・島民との軋轢

など

不特定多数でなく  
専門性を好む特定層  
良識あるハードリピーター

結論

交流人口を今より増やししながら、  
観光消費額を拡大させる！！  
＜長期滞在客の誘客＞

ご清聴ありがとうございました。